

嘉麻市社協だより えががお

No.147

発行日/2018.5.1



栄保育園

～鯉のぼりの工作～

綺麗にできたよ♪

30年度事業計画

～孤から個へ 個から地域へ～

員会、外部監査、評議員選任・解任委員会)
の実施、初盆世帯供物配布事業、葬祭場指定事業
設置、公用車の管理)

の管理・児童遊具の実態調査及び管理、チャイルドシート及び
空き家管理事業)

一人ひとりとの関わりを大切に、
目の前の問題を一緒に解決して
いきます。
そして、地域みなさんと共有し、
支え合える地域を目指します。

かま権利擁護センター

- ・日常生活自立支援事業の基幹的社協(飯塚市・嘉麻市・桂川町)としての事業推進
- ・本会独自の地域福祉権利擁護事業及び権利擁護支援の実施
(地域福祉権利擁護事業運営審議会の開催及び委員の改選、支援員会議の開催)
- ・その他権利擁護支援の実施(権利擁護支援運営委員会委員の改選及び開催、遺言書作成支援事業
諸費立替事業、エンディングノートの推進)
- ・法人後見等による支援及び積極的受任
- ・成年後見制度の啓発(利用に関する相談受付、出前講座の開催)

生活再建 ・権利擁護 ・安心で豊かな生活 ・孤立の防止

かま自立相談支援センター

- ・自立相談支援事業(生活に困っている方の相談受付、アセスメント、支援プラン、モニタリング)
- ・家計相談支援事業(家計に関する相談受付、アセスメント、支援プラン、モニタリング)
- ・フードバンク事業(食材の募集・提供・管理、食材提供協力先の開拓等)
- ・生活福祉資金貸付事業(生活福祉資金利用に関する相談受付、支援)
- ・無料職業紹介事業(センター利用対象からの求職申し込み受付、求職者と県内求人事業所の
斡旋、情報提供、個々に応じた就業先の開拓)

・地縁、血縁、社縁の構築 ・生活再建 ・多重課題の整理、解決

かまひきこもり相談支援センター

- ・相談及び支援事業(相談受付、アセスメント及び情報収集、アウトリーチ、
家族の集い定例会の開催)
- ・ひきこもりに関する啓発事業(勉強会の開催)
- ・居場所づくりの推進(フリースペースの開催)

・孤立の防止 ・子育て不安の解消 ・見守り ・仲間づくり

かまボランティア・市民活動センター

- ・ボランティア・市民活動センターの運営
(広報紙・ブログ・SNSによる情報発信、ボランティア活動保険の周知と助成枠の活用促進、
ボランティア活動コーディネート)
- ・災害ボランティアセンター事業(連絡会の開催、被災地への職員派遣)
- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会(ボランティア運営委員会の開催及び改選)

・連帯 ・防災、減災 ・助け合い

民

嘉麻市社会福祉協議会 平成

法人運営

総務・会計係

- ・改正社会福祉法に基づく法人運営(理事会、定時評議員会及び評議)
- ・その他(苦情解決第三者委員会の改選及び開催、ストレスチェック各種団体への助成事業、ポストカードの販売、飲料水自動販売機の

庶務係

- ・市民の日常生活における安心と利便性の提供(稲築地区バス待合所車いすの貸出、アルミ缶等リサイクル事業、紙おむつの宅配事業、

かま生活支援・相談センター

(コミュニティワークセンター)

- ・総合相談の開設(法律相談、心配ごと相談)
- ・会員の募集及び拡充(チラシの配布、山田地区会員募集世話人会の開催及び改選、年間カレンダーの配布、校区における会員の拡充)
- ・中学校区をエリアとした地域福祉活動の推進(コミュニティソーシャルワーカーの配置、地域福祉推進委員会・協議体・学習会の開催生活支援コーディネーターの配置、出張相談窓口の開設社会資源の改善・創出、横断的ネットワークの構築、視察研修の開催等)
- ・地域福祉部の拡充と活動支援(活動費の助成、福祉推進員の改選福祉推進員会及び代表者会・ブロック別懇談会の開催住民懇談会及び出前講座の開催新規設置に向けた行政区への働きかけ)
- ・ふれあいいきいきサロンの拡充・活動支援
- ・地域支えあい事業の推進
- ・社会福祉法人の社会貢献活動を広げるための事業推進(かま福祉ネットワーク委員会の開催)
- ・福祉ベル・電動ブザーの設置
- ・緊急時通報システムの設置
- ・寄ってこハウスの管理運営
- ・おしゃべりサロンの開催
- ・在宅介護者支援事業(在宅介護者定例会・日帰りリフレッシュ事業の実施・認知症家族の集いの開催)

・信頼
・信用

・孤立の防止
・見守り
・課題解決
・共助

市

相談

在宅福祉推進部門

介護保険事業の推進

- ・居宅介護支援事業(嘉麻北居宅介護支援事業所)
- ・訪問介護事業(嘉麻北訪問介護事業所)

障害者総合支援法にもとづく障がい福祉サービスの提供

- ・居宅介護、重度訪問介護等事業、同行援護、移動支援事業、指定計画相談支援事業の実施

受託事業管理運営部門

- ・配食サービス事業
- ・生活管理指導員派遣事業

公の施設の指定管理事業

(福祉施設等管理・経営部門)

- ・山田ふれあいハウス
- ・子育てリユースセンターの運営

権利擁護フォーラム開催

「みんなの力で地域を支え合う」

3月19日(月)、夢サイトかほで「みんなの力で地域を支え合うフォーラム」を開催し、市内外から60名が参加しました。

第1部は、福岡家庭裁判所飯塚支部 主任家庭裁判所調査官 横溝良幸よしみぎさんに、「成年後見制度利用促進法と市民



後見人の役割について」と題し、話してもらいました。2025年には認知症高齢者が70万人と言われる中、その数と比較して成年後見制度を利用する方は少なく、預貯金の管理等での困りごとが生じない限り、申し立てが進んでいない現状があります。

また、親族後見人より専門職後見人の割合が増え、専門職数に限りがあるため、受け皿が不足することも危惧されており、市民後見人の活躍が求められています。一方では、財産管理や不正防止が重視されるあまり、利用する側がメリットを感じられず、利用しづらくなっています。そこで、平成29年3月に成年後見制度利用促進基本計画が閣議決定され、踏み込んだ権利擁護支援が重視されるようになり、権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが必要とされるようになっていきます。横溝さんは、市民後見人に期待されるのは、同じ地域に住むより身近な存在であるという安心感だと話されました。次に、本会で法人後見事業の市民支援員とし

成年後見 Q&A

Q

専門職後見人とは、どのような人のことをいいますか？

A

司法書士や弁護士、社会福祉士等の専門家が後見人になることをいいます。本人の近い親族が高齢や病気などで、後見人になれる人材が見つからない場合は、専門職後見人という選択を積極的に検討してみるのがよいでしょう。

子どもや兄弟姉妹が後見人になった場合、報酬を請求しないことも多いですが、専門職が後見人になると、本人の資産の中から報酬を支払う必要があります。

て活動されている伊藤英ひでつぐさんと有吉直子ありよしなおこさんに、活動する中で感じたことや思いを発表してもらいました。住み慣れた地域で暮らしているためには、地域のつながりや支え合いが、改めて大切だと感じました。

第2部は、法人後見を受任している社協と今後受任を考えている社協に分かれて、意見交換を行いました。複雑な課題を抱える方々からの相談も多く、支援するうえで悩んだり迷ったりする場面も多々あります。社協職員同士で顔見知りになり、今後相談し合える関係を築くきっかけになりました。

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、ポストカードセット(4枚組)をプレゼントします。

問題 嘉麻市社会福祉協議会では、地域福祉活動の推進のため、コミュニティソーシャルワーカーを配置しています。エリアをどのように配置しているでしょうか。

- (1) 小学校区
- (2) 中学校区
- (3) 行政区

●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、5月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え

(3) 尾浦第一元気クラブ
毎月1回尾浦第一集会場では、尾浦第一元気クラブが開催されています。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・介護は無理せず、明るくゆったりとした気持ちを持つことが大切だと思いました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

今日のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記「嘉麻市社協のブログ」を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>

結び直して前より綺麗に 2018年3月20日(火)

サロンを7年間続けてこられた代表者やメンバーのみなさんが、高齢化や様々な事情で、今後のサロン活動をどうしていこうかと悩まれており、話をききました。楽しくおしゃべりできる場所を続けていくためには、メンバーのみなさんにも、サロンをサポートしてもらうことが大切だなと感じます。

「以前は、サロンで私がしめ縄づくりを教えたこともあったよ」と、正月飾りのしめ縄を見せてもらいました。こちらのお宅では、毎年購入するのではなく、結び直すそうです。昔は赤米、黒米、緑米を育て、その稲を手刈りして、洗っては干しを繰り返し、稲から手作りしていたと教えてもらいました。中でも、赤米は稲が長く色も綺麗で、しめ縄づくりには最適とのことでした。「もう米も作っていないし手刈りの時代でもないから、しめ縄は作れないのよ。だから大事に結び直すと、前より綺麗になるよ」と話されました。

写真は、穂の色がぼやけてきたので、解いて染め直して、また結び直すそうです。ほどくのが勿体ないほど素敵なしめ縄でした。



今日のえがお



最近
笑顔になった
出来事を
教えて
ください

ふじわら もも か
藤原 桃花 ちゃん

4月からお兄ちゃんと同じ小学校の1年生になりました。入学式はドキドキ緊張したけど、保育所のお友達と同じクラスになって嬉しかったです。たくさん友達を作って、お勉強を頑張りたいです。

6月の総合相談

法律相談

と き: 6月7日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。



心配ごと相談

と き: 6月13日(水) 13:00~15:00
と き: 6月27日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。



かまボランティア・市民活動センター情報



みんなで避難訓練

「自主防災について
普段からできること」

3月25日(日)、山田地区自主防災組織の「下宮を災害から守る会」と「地域防災組織コスモス」で避難訓練が行われました。

福岡県や嘉麻市役所、地元の消防団の協力で、豪雨による土砂災害や山田川氾濫による浸水を想定し、避難の声かけや誘導を行い、徒歩や車で下宮集会所と蛭子大橋集会所に避難しました。

下宮集会所では、嘉麻市防災対策課の大場直樹さんがAEDを使った心肺蘇生法の講習を行い、最後に「発電機や投光器は、日頃から地域の行事で活用し、いざという時にみなさんが使えるようにしてほしい」と話されました。

蛭子大橋集会所では、福祉車両を使った要援護者の搬送や、消火訓練を行いました。



「災害はいつ起こるかかわらない。普段から避難の経路を覚えておくことが大事。訓練は繰り返し行うことでいざという時にスムーズに避難できるので続けていきたい」と話されました。

具体的な災害を想定した訓練を地域のみなさんで行い、日頃から顔の見える関係をつくり、いざという時に声をかけ合ったり、自分にできる役割を理解することで、組織としての機能が高まることを実感しました。

ボランティア募集情報

子どもたちとの遊び相手

障がいを持つ子どもと家族の会「Bravo!」は、毎月第3土曜日に山田ふれあいハウスで、定例会を開催しています。保護者の方々は和やかな雰囲気の中で、情報交換や悩みとの共有をしています。その際に子どもたちとの遊び相手をしていただける学生か20代のボランティアさんを男女問わず募集しています。

場所 山田ふれあいハウス
(嘉麻市上山田502-6)

募集人数 1~2名程度

備考 動きやすい服装で、昼食や水分はご自身でご準備ください。

お問い合わせ かまボランティア・市民活動センター
0948-42-0751

イベント情報

馬見山山開き

馬見山山開きが開催されます。嘉麻市観光文化大使原田ラブ子さんと一緒に登りませんか。お気軽にご参加ください。事前申し込みなどは不要です。

日時 5月13日(日) **集合・出発** 9:00

集合場所 馬見山登山口

内容 山頂にて安全祈願、餅つき及び交流会、参加者には記念品(200個)の進呈があります。ぜんざいを200食用致します。

その他 登山靴、雨具など各自でご準備ください。大雨の時は、登山中止。安全祈願祭、餅つき、ぜんざいは馬見山キャンプ場で行います。

問い合わせ 090-4475-1422(益田まで)

山田ふれあいハウスからのお知らせ

子育て リユースセンター

利用時間・・・午前9時~午後5時



使わなくなった子ども服、中学校や高校の制服など揃っていますので、気軽にお立ち寄りください。

連絡・問い合わせ先/山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 ☎ 0948-52-1847

今月の
一冊

家族ほど
笑えるものはない



著者 カフカヤマモトさん 発行 (株)KADOKAWA

この本は、著者に第二子(娘)が生まれてから、インスタグラムで発信した家族の絵日記をまとめたものです。フルタイムで働く著者は、家庭で過ごすわずかな時間を惜しむように、動画や写真を撮り、子どものかわいらしいしぐさや言葉を記録しているそうです。

子育てをしながら家事や仕事をこなし、一人で何役も頑張っているお母さん。第一子(息子)の赤ちゃん返りややきもち。思いがけない行動をとり、なんでも口に入れてしまい目が離せない娘。成長していく中で少しずつ変化していく、兄の優しさと大物の貫禄漂う妹との関係。子どもが寝た後に訪れる夫婦の時間。

そこには、決して楽ではない子育ての中にある、子どもの愛らしさやくすりや笑えるエピソード、ただただ愛おしい日々の記録が、ほのぼのと描かれています。

絵を描くことが苦手な私も、幼い息子たちが発した言葉をノートに書き留めていたことを思い出し、さっそく引っぱり出して読み返してみました。

育児休暇が明けて職場に復帰する時、「外に出たいのも、ずっと子どもと一緒にいたいのも本音。どちらの選択をした母親にとっても、やさしい世の中になってほしい」と、著者の思いが綴られています。

(おがわ)

炭
鉦
の
記
憶

久恒炭鉦と善照寺には深い縁があり、私にとって最大の恩人である熊下卯之吉さんという方のことを思い出します。

炭鉦全盛時代、第17代目住職であった私の父は、熊下さんと出会いました。炭住長屋にお住まいの熊下さん宅には、近隣の住民が毎月来て念仏講のような催しが開かれていました。

夜8時頃からみなさんが集まりはじめ、父と一緒に勤めがはじまり、法話を聴聞したり、今日一日の苦楽を語り合ったりするうちに夜が更けていきます。深夜12時になると、奥さんが握ったおにぎりが振る舞われます。やがて2回目のお勤めが始まります。

自宅の戸口が開く音を床で聞き、父の帰宅を知るのは、日付が変わった後でした。熊下さんは、神経痛による足の激痛に悩まされ、特に12月の寒風の中での法要の折は、黒いマントを羽織り、中折れ帽を目深く被って、足を引きずって来られていました。

善照寺前住職 西原成之さんから
寄稿いただきました。

炭鉦の仕事は日々危険がともない、肉親の安全を守ってくださいという祖先への願いもあって、こうした炭鉦の文化や信仰心が育ったのではないかと思います。

8月の盆踊りには、広場に櫓が組み、笛太鼓にあわせて盆踊りが始まります。炭住長屋で頼りになる存在であった熊下さんの音頭に合わせ、着飾った踊り子たちが舞う風景は、久恒炭鉦の夏の名物として評判ものでした。

私の長い人生の中で、父が念仏講から帰宅したときの戸を開ける「音」、お寺に來られたときの熊下さんの「あの姿」は忘れることができませぬ。今日まで私を支えてくれた二つの宝です。



熊下卯之吉さんと奥様の写真。
長屋の前で撮影。

No.134

法人運営 INFORMATION

下記のとおり、理事会を開催しました。

第60回理事会

《開催日》平成30年3月16日(金)

- 【議案第180号】平成29年度補正予算について
- 【議案第181号】平成30年度事業計画及び収支予算について
- 【議案第182号】平成30年度広報紙等印刷請負契約について
- 【議案第183号】車両管理規程の制定について
- 【議案第184号】臨時的任用職員就業規則の一部改正について
- 【議案第185号】職員給与規程の一部改正について
- 【議案第186号】臨時的任用職員賃金規程の一部改正について

第42回評議員会

《開催日》平成30年3月23日(金)

- 【議案第82号】平成29年度補正予算について
- 【議案第83号】平成30年度事業計画及び収支予算について

平成30年度 一般会計資金収支予算

(単位：千円)

●事業活動による収支

(収入)		(支出)	
会費収入	1,635	人件費支出	129,005
寄附金収入	2,750	事業費支出	45,553
経常経費補助金収入	39,830	事務費支出	5,715
助成金収入	94	貸付事業支出	100
受託金収入	61,564	助成金支出	2,262
貸付事業収入	100	負担金支出	532
事業収入	31,304	事業活動支出計	183,167
介護保険事業収入	19,124	事業活動資金収支差額	▲20,614
障害福祉サービス等事業収入	5,939		
受取利息配当金収入	101		
その他の収入	112		
事業活動収入計	162,553		

●施設整備等による収支

(収入)		(支出)	
施設整備等収入計	0	施設整備等支出計	0
		施設整備等資金収支差額	0

●その他の活動による収支

(収入)		(支出)	
積立資産取崩収入	13,591	積立資産支出	100
拠点区分間繰入金収入	8,619	拠点区分間繰入金支出	8,619
サービス区分間繰入金収入	22,130	サービス区分間繰入金支出	22,130
その他の活動収入計	44,340	その他の活動による支出	4,206
		その他の活動支出計	35,055
		その他の活動資金収支差額	9,285

●予備費支出	1,184
●当期資金収支差額合計	▲12,513
●前期末支払資金残高	12,513
●当期末支払資金残高	0

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のうち、8割の方が事前相談に来館されています。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお尋ねください。

家族葬にあわせてプランもご用意し、スタッフが心を込めてお手伝いいたします。

また、当会館のお斎等は、パドドゥ・ル・クトブキの本格料理をご用意しております。



嘉麻市漆生298-1
☎ (0948) 42-4241

指定葬祭場紹介
飛鳥会館 南斎場

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に8ヶ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499	かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
ひさつね会館	☎52-0758	善光会館 稲築会場	☎83-5000
いすや会館	☎57-4444	おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
セレモニーホールおおつか	☎52-1212		

みなさまの善意、心より厚く、お礼申し上げます。

香典返し・寄附

3月1日～3月31日受付分

◆香典返し

【漆生本村】

親族 香田 綾子 様

故 野見山 良二 様

【漆生南部】

親族 桑名 多恵子 様

故 桑名 政美 様

【平第一】

親族 西田 俊夫 様

故 西田 壽美江 様

【鴨生北町】

親族 矢羽田 功一 様

故 矢羽田 菊代 様

【下牛隈】

親族 萩尾 フヂエ 様

故 萩尾 茂則 様

【千手】

親族 眞次 キヨ子 様

故 眞次 辰美 様

【嘉穂才田】

親族 前 隆士 様

故 山本 富子 様

【桑野】

親族 大串 聖子 様

故 坂口 幸代 様

【西郷】

親族 田中 悟 様

故 田中 光子 様

【上臼井下】

親族 田中正子 様

故 田中 多美雄 様

【上臼井上】

親族 川上 登志子 様

故 川上 良之助 様

◆一般寄附

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

【子育てリユース】

漆生東 坂本 眞一 様

飯田 佐藤 麻美 様

桑野 江藤 千鶴 様

飯塚市 霜 笑 様

【アルミ缶】

漆生南部 岩田 勇治 様

漆生南部 市原登志彦 様

漆生南部 西岡 聖 様

口春 篠崎 哲郎 様

樋渡 藤春 一枝 様

鴨生第一 花村 誠市 様

漆生東 匿 名 様
百々谷 日野 和義 様
下宮 ライブハウス
おおつか様

猪之鼻 菊池 春政 様
中益 いきいきサロン
なかもす様

鴨生第一行政区 様
石ヶ崎シニアクラブ 様
嘉麻市身体障害者福祉協会 様

稲築支部 様
小西モータース 様
鴨生第二ふれあい
いきいきサロン 様

口春11組 様
漆生中央 田中茶舗 様
山野第二 古賀 絹江 様

鴨生町 内藤千鶴子 様
上臼井下 カトレア
サークル 様

西郷 原中 貞子 様
熊ヶ畑第二 筒丸 彬仁 様
神幸 樋口 豊 様

木城 樋口 えり子 様
原町 松岡病院
北3病棟 様

中山山下 箕田 ヤヨイ 様
大隈 匿 名 様
下牛隈 ダスキン嘉穂様

小西モータース 様

鴨生第二ふれあい
いきいきサロン 様
稲築志耕館高等学校 様
口春11組 様

長円寺仏教婦人会 様
上山田小学校 様

漆生中央 壁屋 誠二 様
山野第二 古賀 絹江 様
銭代坊 野上 節子 様

中山山下 箕田 ヤヨイ 様
上 大塚 イチ子 様
嘉麻市福祉事務所保護課 様
嘉麻市役所税務課市民税係 様
教育ナビゲーション(株) 様
稲築志耕館高等学校 様

銭代坊 野上 節子 様

【使用済みテレカ】
銭代坊 野上 節子 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)
(順不同で掲載しています)

3月1日～3月31日受付分

〈漆生中央〉岡山文字

〈山野第二〉大神賢一

〈漆生老松〉木山淳一(二口)
〈平東〉米矢稲子

〈熊ヶ畑第一〉江藤久人、大里初男、大里恵、大里優子、大里梶栄、財津吉美、大里速、廣瀬スズエ、大里ミツエ、友田雅則、大里喜久雄、大里京子

〈百々谷〉坂本崇栄

〈尾浦第一〉萩尾征男、酒井リツ子、松本由美子

〈西川〉松吉美和子、中村操、花田清寿、花田勝美

〈木城〉小山寧子、水之江哲実、水之江文子、小山一識、大里英雄

〈大橋〉明石昌土、大塚知恵子、深町紀子

〈猪之鼻〉大久保昌之

〈三菱第一〉野見山幸代
〈中山山下〉加藤結花

〈下臼井西〉小川雅司、小川史佳

〈琴平団地〉古川真美
〈市内〉かまつびメンバー一同

〈飯塚市〉木原靖世(二口)中野咲喜、藤井克典(二口)、八尋未佳

〈市外〉伊藤紗稀

ふるさとへの
手紙
No.147



東区箱崎在住
うえの けいや
上野 恵也さん
漆生出身



帰る場所

8年前の26歳の時から、今の会社に就職したのをきっかけに福岡市東区で一人暮らしをしています。そんな私の故郷は、その福岡市東区から八木山を越えて遠賀川を沿うように211号線を南へ。母校の稲築西小学校、稲築中学校を右手に見ながらさらに南へ。そして、嘉麻市漆生の実家の周りは小さな山と森に囲まれた、のどかな風景が広がっています。

学校から帰ると遠出することもなく近所の友達の家で遊び、夕方は、妹と犬と一緒に河川敷や山道を散歩。夜は、家族と家で映画を見たりおしゃべりして過ごし、窓の外の風に揺れる木々の音、虫の声を聞きながら寝るという生活に、ほとんどの時間を使っていたような気がします。

今も父、母、妹が実家で暮らしていて、家の周りの風景も当時とほとんど変わっていません。故郷に帰ってくるたび、良くも悪くも非常に多感だった学生時代の楽しくも苦しい思い出や、家族からたくさんのおやすみをもらったこと、たくさん迷惑をかけてしまったことが思い出されます。

その変わらない帰る場所があるからこそ、今暮らしている場所や職場で充実した生活を送ることができていると思います。いつも自分の健康と幸せを願ってくれる家族に感謝します。みんな、ありがとう。

【お詫びと訂正】前号(146号)に記載いたしましたふるさとへの手紙の中で、横畠拓哉様のお名前を「横畑拓哉」様と記載しておりました。深くお詫びして訂正させていただきます。

編集後記



(おがわ)

権利擁護フォーラムでは、市民のみなさんと一緒に成年後見制度利用促進法と市民後見人の役割について学び、住み慣れた地域で暮らすためのまちづくりについて、できることを考えました。



(ふじい)

避難訓練を通じて、普段から隣近所に声かけして顔の見える関係性を作っておくことが大切だと学びました。つながることを意識しながら、地域福祉活動に取り組んでいきたいと思えます。



(いとう)

広報紙を見た方が、「こんなことやっているけど見に来ない?」と声をかけてくださいました。地域の様々な活動や声を取り入れた広報紙づくりを心がけていきたいと思っています。



(さかた)

ブログでは、日々新しい情報を更新しています。紙面で紹介した記事以外にも、地域での活動や情報を発信しています。本会ホームページから閲覧できますのでご覧ください。



(つちや)

「ふるさとへの手紙」では、学生時代の思い出や家族への感謝の言葉が綴られており、とてもあたたかな気持ちになりました。変わらない故郷を大切にされていることが伝わってきます。



(やひろ)

表紙は、栄保育園児の工作の様子です。絵具で模様をつけた紙を画用紙に貼り、完成すると嬉しそうな笑顔を見せてくれました。季節感のある作品に、初夏の訪れが待ち遠しくなりました。

新規採用職員

新規採用職員辞令交付式 平成30年4月2日(月)
4月1日付で採用となった職員に、村上市長から辞令が交付されました。3人の新人職員を紹介します。



さかた ともき
坂田 智貴

趣味は、ドライブです。福岡市在住ですが、大学時代は5年間飯塚市に住んでいました。市民のみなさんとの一つひとつの出会いを大切に、気軽に声をかけて頂けるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
(稲築東地区担当)



うちだ ひろみ
内田 広美

熊本県出身、熊本育ちです。熊本地震では全国、また嘉麻市のみなさんからご支援いただき、ありがとうございました。熊本はまだまだ復興再建の途中ですが、これからは市民のみなさんと一緒に、嘉麻市で地域づくりに頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
(嘉穂地区担当)



やました だいすけ
山下 太助

担当の地区はありませんが、一人でも多くの市民のみなさまと出会い、繋がっていければいいなと思っています。社会人として日が浅く、わからないこともたくさんありますが、一日でも早く、地域のみなさんの力になれるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。